

令和 8 年度 第 70 回日本読書学会大会プログラム

日程 2026 年 8 月 10 日 (月)

- 〈9:30〜〉受付
- 〈10:00〜12:00〉個人研究発表
- 〈12:10〜13:10〉理事会
- 〈13:20〜14:00〉総会
- 〈14:00〜14:30〉表彰式
- 〈14:40〜16:40〉個人研究発表
- 〈17:00〜18:30〉懇親会

*懇親会費 (一般 3,000 円、学生 2,000 円) は、会場にて現金でお支払いください

場所 林野会館 (東京都文京区大塚 3 丁目 28 番 7 号 電話 03-3945-6871)

*地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅から徒歩 7 分、筑波大学附属小学校正門近く

参加費 オンラインシステム SMOOSY を用いての事前申込制

正会員 (一般) 4,000 円、正会員 (学生) 3,000 円

臨時会員 (一般) 5,000 円、臨時会員 (学生) 4,000 円

*発表及び参加は全て事前申込制であり、当日の参加申し込みはできません。

*研究大会に参加される方は、発表者以外の方も事前の申し込みをお願いします。

参加申込締切：2026 年 8 月 9 日 (日)

参加費納入締切：2026 年 8 月 9 日 (日)

*参加費は上記期限までに納入してください。会場での払込はできません。

*発表要旨集は PDF データで作成し、参加費を納入された方へ公開します。

諸連絡

- ・(発表者) 個人研究発表は、発表 20 分、質疑応答 10 分、計 30 分です。
- ・(発表者) 配付資料がある場合、各会場入り口付近のテーブルに置いてください。
- ・(発表者) 投影資料がある場合、開始前に接続の確認を行ってください。
- ・(発表者) 発表する研究は、倫理的な問題がないことが前提となります。個人や所属組織、特定の商品などの宣伝は慎んでください。
- ・(参加者) 研究発表の映像や資料の撮影・動画・録音は原則禁止です。
- ・(参加者) 質疑応答では、お名前とご所属を述べてからご質問ください。

大会実行委員会

実行委員長：福田由紀 (法政大学)

副実行委員長：長田友紀 (筑波大学)

大会担当幹事：勘米良祐太 (武蔵野大学)

実行委員：足立幸子 (新潟大学)、平山祐一郎 (東京家政大学)、梶井直親 (学習院大学)

事務局長：勝田光 (筑波大学)

*大会関連のお問い合わせは日本読書学会事務局まで



学会事務局

〈10:00～12:00〉 個人研究発表 (A1) 第1会場 (603)

司会：足立幸子（新潟大学） 井関龍太（大正大学）

A1-1 宮沢賢治「やまなし」を読むーリテラチャーサークルを援用してー
上畠祥子（青山学院大学系属浦和ルーテル学院小中高等学校）

A1-2 中学生は読書が「面白い」「役に立つ」ことを友達にどのような方法で伝えようとするのかー質的統合法（KJ法）を用いた埼玉県「こどものこえアンケート」の分析ー
宮澤優弥（東洋大学） 成田愛子（東京都立小平高等学校）

A1-3 保育者の絵本選書に関する調査研究
魏旭童（学習院大学大学院） 秋田喜代美（学習院大学）

〈10:00～12:00〉 個人研究発表 (B1) 第2会場 (604)

司会：藤木大介（広島大学） 犬塚美輪（東京学芸大学）

B1-1 語彙習得に困難のある児童を対象とした手続き的な読解支援の事例的検討
河村暁（福岡教育大学大学院）

B1-2 解釈の再構築を促す読解活動の効果ー情報伝達ゲームとミステリ教材を用いた授業実践ー
向本翔馬（福岡教育大学大学院） 河村暁（福岡教育大学大学院）

B1-3 「読むこと」の授業を通じた「私のテキスト」の編成の支援ー「『不便』の価値を見つめ直す」（光村図書・中学校第一学年）を中心にー
新保透也（横浜国立大学大学院）

B1-4 高等学校の評論教材は「読めばわかる」ものなのかー評論を理解し、指導するための「概念マップ」作成の試みー
河田良子（大阪府立生野高等学校）

〈12:10～13:10〉 理事会 (603)

〈13:20～14:00〉 総会 (604)

〈14:00～14:30〉 表彰式 (604)

〈14:40～16:40〉 個人研究発表 (A2) 第1会場 (603)

司会：上谷順三郎（鹿児島大学） 森田愛子（広島大学）

A2-1 魯迅『故郷』の訳文比較による授業実践ー何度も出会いなおす国土ー
甲斐伊織（学習院中等科）

A2-2 高等学校古典教育における『読み』の深化と共感性の醸成ー応用演劇（即興的）の手法を用いた『源氏物語』の実践を通してー
早坂晴子（宮城県仙台向山高等学校）

A2-3 自律的な読み手の育成を目指した短歌鑑賞の学習指導 ―TSI（相互交流方略教授）を軸として―

秋田哲郎（筑波大学附属中学校）

A2-4 学習者の読みを起点に、主体的に読む国語科授業の創造 ―小学校4年生「ごんぎつね」の実践を通して―

長屋樹廣（北海道教育大学釧路校）

〈14:40～16:40〉個人研究発表（B2） 第2会場（604）

司会：幸田国広（早稲田大学） 石田喜美（横浜国立大学）

B2-1 時枝誠記「言語過程説」における読みの「時間性」 ―現象学の視点から―

小塩玄（横浜国立大学大学院）

B2-2 読むこと（説明文）学習における「問い」がもたらす学びの様相 ―「どうぶつの赤ちゃん」（小1）の実践より―

大村幸子（東京学芸大学附属小金井小学校）

B2-3 問いの分類研究に関するレビューと今後の展望 ―問いの性質と生成のタイミングに着目して―

菊池理紗（国立国語研究所／法政大学） 大隈萌恵（早稲田大学）

キムヒョンス（国立国語研究所／慶応義塾大学大学院） 西田真奈（東京大学大学院）

大和えり子（順天堂大学） 赤塚祐哉（相模女子大学）

藤永ゴードン清乃（カーネギーメロン大学）

松下達彦（国立国語研究所／総合研究大学院大学）

B2-4 国語教科書における小論文・意見文の動向 ―平成30年告示高等学校学習指導要領に基づく教科書を資料として―

前川孝子（日本大学）

〈17:00～18:30〉懇親会 第1会場（603）

お知らせ

次年度以降、大会プログラムはメール配信とWeb掲載によってお知らせし、紙媒体の送付を廃止することになりました。日本読書学会にメールアドレスを登録していない会員におかれましては、事務局（info@readingassoc.site）までメールアドレスをお知らせください。